



株式会社修斗 SDGs宣言

当社は、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2021年7月1日

株式会社修斗

代表取締役 石丸 智仁



重点項目(ターゲット2030)

持続可能な農業

農業の持つ循環機能を活かし、生産性との調和等に留意しつつ、環境負荷の軽減に配慮した持続可能な農業に努めます。気候変動等の環境の変化に上手く適応し、安定的な作物等の供給を目指します。

【主な取り組み】

より高温に強い品種への変更、農業の適正使用、水資源の適正管理、地産地消・6次産業化



持続可能な生産と消費

サプライチェーン全体を通じて、生物多様性の保全と持続可能な生産・消費形態を確保します。常に安全で高品質なみかんを提供できるよう、安全管理・品質管理に取り組みます。

【主な取り組み】

環境に配慮した包装資材への変更(バイオマスレジ袋等)、循環型社会の形成に向けた官民連携



働き方の質の向上

従業員一人ひとりに応じた多様で柔軟な働き方を提供することで、従業員満足度の向上と労働生産性の向上の両立を目指します。生き活きと働き、成長も実感できる職場づくりに取り組みます。

【主な取り組み】

適材適所の人材配置、女性活躍、柔軟な働き方の提供、従業員の要望に合わせた施設運営等の改善、個人の趣味や記念日等に合わせた休暇取得の推進



地域の成長・活性化への貢献

地域のステークホルダーと連携し、愛媛のみかんを次の世代へ引き継げるよう取り組んでまいります。持続可能で力強い果樹農業を目指すことで、地域課題の解決、地域活性化に尽力します。

【主な取り組み】

「みきゃんパーク」の運営、「松山市次世代につなぐ果樹産地づくり推進事業」への採択、「伊予柑の未来を守る会」・「いよかんの木オーナー制度」



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。